

長野県社保協ニュース <21-15>

2016年11月14日(月) 長野県社会保障推進協議会

<事務局>長野市高田 276-8 県労連会館 1階 TEL 026-223-1281・FAX 026-223-1291

http://www.n-syaho.com

E-mail: naganosyahokyou1281@star.ocn.ne.jp

「介護で疲れた」「入所中の施設への不満」「要介護2だが、車椅子使えなくなるの?」「高齢で独居、何かあったら不安」

深刻で多様な相談が26件(過去最高)

11/11 介護なんでも無料電話相談実施



長野県社保協は、中央社保協と連携して11月11日(金)「いい介護の日」に合わせて、介護なんでも無料電話相談を実施しました。介護の日に合わせて電話相談を実施するのは、6回目になります。

相談当日10時開始と同時に2件の相談が入りました。2件とも新聞で知った方でした。1件目は「独居で病気あるが、認定結果への疑問と施設への入所希望」の相談、2件目は介護施設職員で施設内の接遇や業務内様についての相談でした。この相談の様

子をNHK長野支局が取材し、その内容を昼のローカルニュースで紹介・報道しました。

このニュースの報道がされた屋過ぎから3台の電話がフル稼働状態となり、午後4時までに午前の方もあわせて26件の相談になりました。26件は過去最高の件数です。内訳は、新聞をみた方5名、テレビをみた方20名、ラジオを聞いた方2名(ダブリ1名あり)した。NHKの報道の影響を強く感じました。

(右側NHK長野版での報道写真)

相談者の内訳は、本人が7名、家族が19名で、男性が7名、女性が19名、年齢では60歳代が7名、80歳代6名などでした。相談内容では「介護疲れ」が一番多く9名、入所施設への不満・要望が6名等でしたが、「高齢者となり、独居で何かあったら心配だ」との電話が2名、

「医療機関への不満」など医療相談が2名ありました。いずれも、昨年以上に相談内容が多様で深刻なものが目立ちました。

なお、当日の相談員は、民医連からケアマネ2名、医労連(長厚労)からケースワーカー2名、ケアマネ1名、県労連の労働相談員2名、県推協から障がい者相談員1名の8名でした。



介護保険をよくする信州の会 県政出前講座

「長野県における新総合事業の進捗状況等について」

日時：2016年11月19日(土) 10:00~12:00

場所：松本市・民医連会館 1階会議室

説明者：長野県健康福祉部介護支援課計画係

主事 小林 志伸氏

大勢の方の参加をお願いします。